

組織のプレゼンスの向上を目指して ～ホームページを活用して～

1 本課題に取り組んだ背景

森林管理署が、森林組合と間違えられたり、未だに営林署と言った方がタクシーの運転手に行き先を伝えやすい状況の中、当センターは釧路市周辺のイベントにおいて参加者から「おたくは国の組織ですか?」、「道ですか?」、「民間の組織ですか?」と尋ねられる状況です。当組織は国の行政サービスの一環として環境教育を行っており、当組織が国の組織であると認識されていないことは、当センターが行っていることが国の行政サービスであるとの認識がないことを意味します。そこで、当センターが国の組織であることを認識させるため、プレゼンス（存在感）の向上を図ることとしました。

2 その方法

当センターには、「写真ピックアップ」という釧路地方の自然や実施したイベントの状況をブログ調で伝えるコーナーがあります（図-1）。このコーナーを魅力あるコンテンツで閲覧者を惹き付け、併せて当センターが林野庁北海道森林管理局の一組織であることを印象づけることとしました。

記載に当たっては、次の各点を基本的なポリシー（方針）とすることとしました。

図-1 写真ピックアップのバナー



① 風景や花の単調な羅列を避けること

様々なホームページにありがちなものとして、風景や花の羅列に終始するものがあります。これは閲覧者に倦怠感を与え、すぐに別のサイトに移動する可能性が高いものと思われます。そこで、掲載写真や記述に変化を与え、単調な写真の羅列や論調を避ける必要があるものと考えます。例えば、時の経過とともに移りゆく景色の状況（図-2）や行く先々で目にした印象的な光景を記事に差し挟むことです（図-3）。

図-2 時の経過とともに移りゆく風景



図-3 七色の光彩を放つつらら



② 風景は誰もがアクセス可能な場所で撮影すること

綺麗な風景、印象に残った風景は誰もが自分も目にしたいと願うものです。これが法令上立入禁止の場所であったり、危険を伴う場所であった場合、苦情が寄せられる可能性があります。誰でもアクセスでき、そこで素晴らしい風景を目にすることができることを紹介することとしました（図-4、図-5）。

図-4 サテライト展望台の風景



図-5 素晴らしい朝焼け



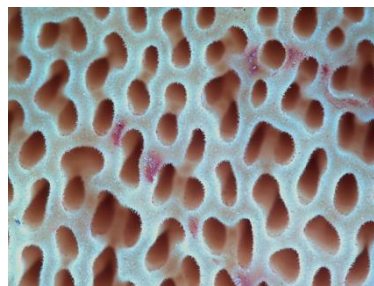
③ イベントの予告編を掲載し期待できる喜びや感動を事前に紹介

イベントは事前の宣伝が重要です。期待できる喜びや感動を事前に紹介することとし、期待感を抱かせることとしました（図-6、図-7）。

図-6 電子拡大映像器で



図-7 ミクロの世界が観察できることを紹介



④ イベントは実施の理由、意義を明確に伝えること

単に植樹風景や間伐体験を紹介するだけではイベントを何故行ったのかのメッセージが伝わりません。イベントの紹介はただらと行わず、端的に実施意義や目的を伝えることとしました（図-8、図-9）。

図-8 気象害で広大な笹地が発生
森林の機能の低下が懸念

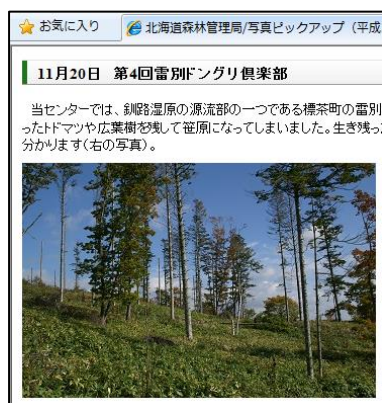


図-9 植栽後シカ食害が発生
食害対策を実施



⑤ イベント参加者の生の声や感動の瞬間を如実に伝えること

他の者が参加したイベントの状況を見たところで閲覧者は何も面白くありません。参加者の感動の瞬間をすかさずカメラで捉えて掲載する、生の言葉をメモして括弧書きで如実に伝えることで、私も参加してみたいという気持ちを醸し出すことが出来ると思います（図-10、図-11）。

図-10 シマリス発見に感動の瞬間



図-11 工作教室で作品の自慢



3 さらなる工夫

イベントの実施状況や日々の業務の様子を伝えるだけでは閲覧者を惹き付けるにはまだ工夫が足りないと感じ、釧路地方の歴史や環境問題を丹念に調べ、写真を交えて一つの読み物とする企画を行いました。例えば以下のものです。

- ・美しいアトサヌプリ（硫黄山）の風景に隠れた釧路集治監の囚徒の悲劇
- ・外来種ウチダザリガニを食べて絶滅させることを呼びかけた阿寒湖への旅
- ・海の幸が豊富な厚岸湖への訪問（上流にはうるわしい緑豊かなパイロットフォレスト、湖の周辺は特定外来生物オオハンゴンソウが猛繁殖）
- ・鉄道を利用した釧路湿原の旅の提案
- ・外来植物12種で構成されたカレンダーの作成

○ 企画の例1：アトサヌプリ（硫黄山）編の概略

⇒豪快な蒸気を噴出し、特異な植生とイソツツジを始めとする可憐な花が見られるアトサヌプリは多くの観光客を魅了。その影には悲惨な歴史が。



⇒明治18年に標茶町に釧路集治監が設置され多くの囚徒が硫黄採掘の苦役を課された。



⇒飛び散る硫黄の粉末で看守も含めて失明者が発生。栄養失調や水質の悪い水を飲んだため消化器病に罹り、死者が続出。



⇒多くの囚徒が釧路川を舟で廻り、標茶まで送られ、多くの囚徒が再び生きてこの川を下ることは出来なかった。

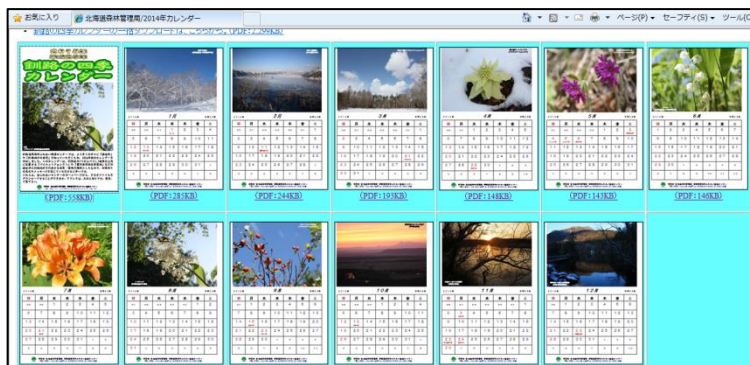


⇒悠々と流れる釧路川や美しい花々を咲かせる釧路湿原にその面影を偲ぶことは今では出来ない。

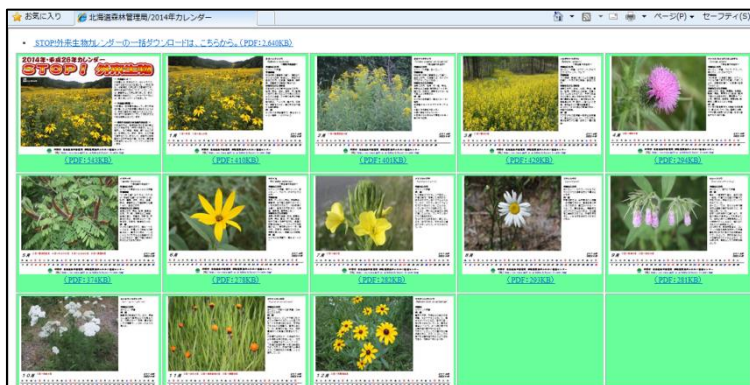


○ 企画の例 2 : 外来植物 12 種で構成したカレンダーの作成

⇒表版：釧路の自然



⇒裏版：STOP 外来植物



4 最後に

本取組によりホームページへの閲覧者の増加は農林水産省のアクセスカウンターの不具合により数値的・客観的に把握することは出来ませんでした。様々な検索エンジンにおける検索順位は月を追うごとに着実に上昇し、閲覧者が増えたという手応えを感じました（検索順位を上げるビジネスが存在し、また、検索順位を上げるテクニックも一般に公開されていますが、当センターはこのようなことはしていません。）。

話題性に富んだ内容をホームページに掲載することでプレゼンスの向上を図ることは一定の役割を果たしたものと考えますが、今後は、当センターの主たる業務である自然再生事業を着実に実施し、釧路湿原の自然環境の維持に貢献をし、評価を受ける、また、森林環境教育では優れたプログラムを開発し、より多くの学校で取り入れられるなど、実施した業務の成果で自ずとプレゼンスが向上するよう目指さなければなりません。

特に森林環境教育では、学校の先生はカリキュラムを消化するのに苦心しており、野外学習や理科実験に割く時間はほとんど無いのが現状であること、また、先生方は万能では無く、不得意とする教科や分野があることが環境教育に関する会議の中で北海道教育大学教官から報告されました。先生方の生の声を聞く、本音を聞き出す、ニーズを把握するのは重要なことで、ニーズに基づきプログラムを開発する、あるいは既存のプログラムを修正することが基本的な方法ですが、先生方の本音を聞き出すのは容易ではなく、教科書でどのような記述がされているのかを調べ、これに沿った森林環境教育のプログラムを開発し、あるいはこれまで開発したプログラムを教科書に沿ったものに再構成し、これを提案すればまさに先生方が欲しがると思われるものを提供していく、すなわちシーズ志向も重要と考えます。